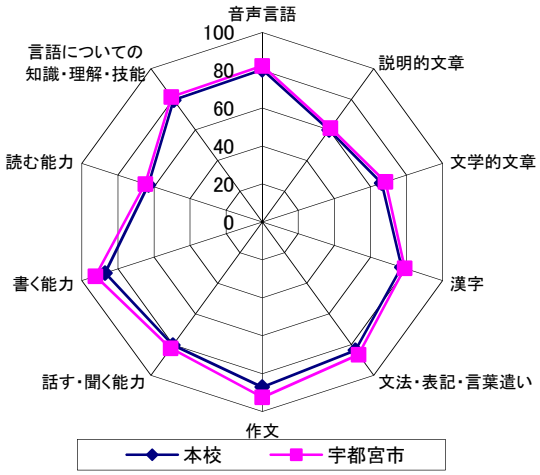
宇都宮市立陽東中学校第１学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	80.3	82.3
	説明的文章	60.0	61.3
	文学的文章	66.2	68.4
	漢字	77.3	79.1
	文法・表記・言葉遣い	83.7	86.5
	作文	87.2	92.5
観点別	話す・聞く能力	80.3	82.3
	書く能力	87.2	92.5
	読む能力	63.1	64.9
	言語についての知識・理解・技能	79.4	81.6



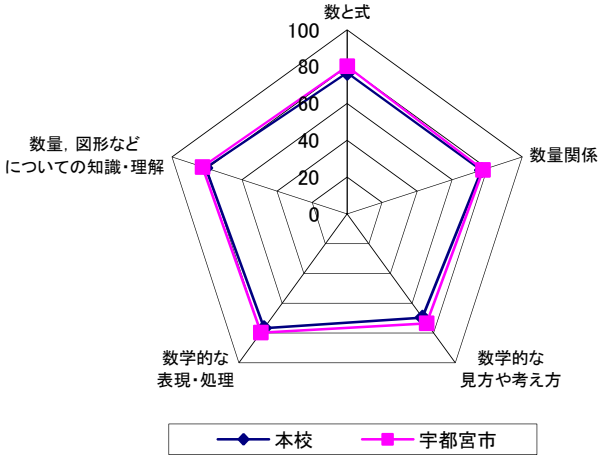
★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
音声言語 (80.3%)	・本市平均と比べて2%下回っている。 集中して内容を聞き取ろうとしている生徒と、集中力のない生徒の差が激しい。話の趣旨はわかっているものの、細かな内容について理解できていない者が多い。メモを取る習慣が身についていない生徒もいる。	・授業の中で随時、聞き取りテストを実施しているが、それ以外にも普段の生活のなかで、集中して聞く習慣を身につけさせたい。聞き取りテストでのメモを取るトレーニングを重視し、スキルを覚え、毎日の生活ノートをきちんと書くことで、メモをとる習慣を身につけさせたい。
説明的文章 (60.0%)	・本市平均と比べて約1%下回っている。 文脈に即した内容の理解が不十分である。また、語彙が不足している生徒が多く、意味の理解も不十分である。一部の生徒で根気強く最後まで文章を読み、最後まで問題に取り組めない者がいる。	・説明的文章の読解では、内容を細かなところまで、正確に読み取る能力が大切である。プリント学習や問題集などで、正確に読み取る力を養っていきたい。また、語彙を増やすため、漢字の練習を毎時間の始めに位置づけ、確認テストを行っていく。
文学的文章 (66.2%)	・本市平均と比べて約3%下回っている。 特に登場人物の心情理解や動作の理由の考察が不十分である。説明的文章と同様に、語彙の不足も見られ、読解の妨げ・誤解を生んでいる要因になっている。	・文学的文章の読解で、登場人物の言動から心理に迫れるように、読み込みを深めていきたい。また、読書にもより親しめるよう「朝の読書」にも集中して取り組ませたい。上記の説明的文章と同様に語彙を増やし、多くの問題に触れ、問題に慣れ、解くことに抵抗感がなくなるようにしていきたい。
漢字 (77.3%)	・本市の平均を約2%下回っている。 中学校で習った漢字の定着度が低い。また、部首や故事成語の意味の理解も不十分である。定期テストの前にはよく学習している様子が見られるが、普段からの練習が不足しているため、習熟していない傾向が見られる。	・授業の始めには漢字練習の時間を設けているものの、定着度が低い。漢字について総合的な知識をもてるような練習帳を使用することで、さらにしっかりと練習に取り組めるようにしたい。
文法・表記・言葉遣い (83.7%)	・本市平均と比べて約3%下回っている。 文法事項である「文節を区切る問題」では、平均を2パーセント上回ったが、表記・言葉遣いでの定着度が低い。普段からの文章の読み書きや言葉遣いも大切である。	・表記・言葉遣いについては、普段からの生活習慣での指導が大切である。丁寧にノートをとることや場に応じた話し方などの基本的な指導を重視していきたい。また、授業においても文章を書く機会を増やしていきたい。
作文 (87.2%)	・本市平均と比べて約5%と大きく下回っている。 国語の総合的な能力が現れる領域である。自分の意見を記述することが苦手である。作文を書く能力も不十分であることがわかる。文章を書くことを最初から取り組む意欲が低い生徒がいる。	・授業での「書く単元」に力を入れていく。また、実際に作文を書き、お互いに読みあうことで、よい点を学べるような交流を重視していく。文章を書くことが苦手な生徒には、文章を原稿用紙に正しく写し、丁寧に書くことから始め、最終目標としては、あきらめずに最後まで問題に取り組む姿勢を身につけさせていきたい。

宇都宮市立陽東中学校第１学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と式	76.6	80.2
	数量関係	76.8	77.6
観点別	数学的な見方や考え方	69.5	73.5
	数学的な表現・処理	76.6	79.7
	数量，図形などについての知識・理解	80.8	82.6



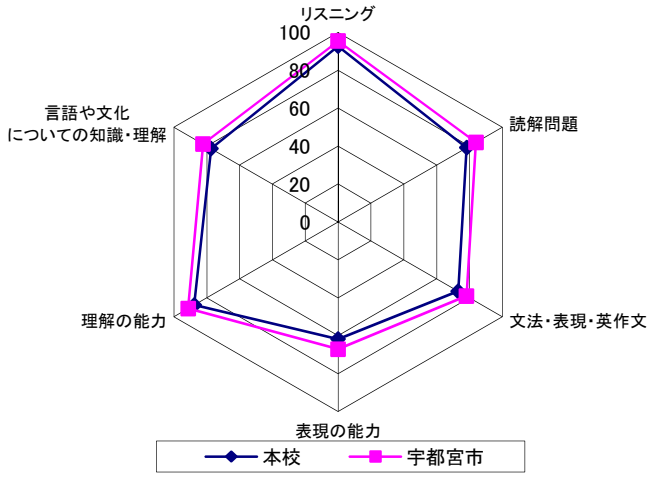
★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式 (76.6%)	・宇都宮市と比べると、3．6ポイント低い。内容分析をしてみると、「等式の性質」は3．9ポイント高く、「文字式の値」は7．0ポイント、「比例式」は5．5ポイント低いことが分かる。また、記述式問題である「方程式の利用」においては、無解答が6．9ポイント高い結果となっている。学習内容を定着させるための繰り返しの学習と意欲の不足が考えられる。	・左記の反省から、今年度の学習内容はもちろんのこと、次年度の文字式の計算や数量を表す文字式の繰り返しの学習を意図的に設定し、一層の定着を図るようにしたい。特に、つまずきがちな学習内容を事前に想定し、指導を強化できるようにしたい。また、生徒各自が意欲的に授業に取り組めるような学習課題の工夫を心がけたい。
数量関係 (76.8%)	・宇都宮市と比べると、0．8ポイント低い。内容分析をしてみると、「反比例の表」は2．7ポイント、「比例のグラフ」は1．3ポイント高い。しかしグラフをかかない無解答が2．6ポイント高い結果となっている。また、「点の座標」においては、基本的な出題に関しては市の平均との差は少ないが、応用問題となると3．9ポイント低くなっている。基本をしっかり身に付け、それを利用していく力が不足していると考えられる。	・本領域における達成度には、個人差が大きいと思われる。パソコンを含めた視覚に訴えた教材の活用などを通して、その理解と関心を高めていきたい。また、捜査活動などの数学的な活動を積極的に取り入れ、楽しく意欲的に取り組める学習を心がけたい。

宇都宮市立陽東中学校第１学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	リスニング	92.7	95.5
	読解問題	78.3	84.0
	文法・表現・英作文	73.1	78.2
観点別	表現の能力	61.8	67.1
	理解の能力	87.6	91.4
	言語や文化についての知識・理解	77.4	82.3



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
リスニング (92.7%)	・市の平均より2．8ポイント下回る結果となったが、正答率は90%を超えており、昨年同様他の領域よりも高い。英語の対話文を聞き取る力はおおむね身についていると言える。	教師やALTの話す英語だけでなく、CDや電子教材を活用して日頃から英語を聞く機会を多く設けるようにしたい。また、教科書の音読にも力を入れることで、英語特有の音のつながりに気付かせ、リスニングに生かしていけるようにする。
読解問題 (78.3%)	・正答率が78．3%と市の平均を5．7ポイント下回る結果となった。まとまった文を読み取る力が不足しており、ほとんどの問題で市の平均を5ポイント以上下回っている。	長文の読解力向上のために、教科書本文の内容理解を定期的に行うようにする。また、教科書に類似した文章を読む機会を単元末等に設け、まとまりのある英文に慣れるようにしていきたい。
文法・表現・英作文 (73.1%)	・正答率が73．1%と、市の平均よりも7．4ポイントも下回る結果となった。文法や並べ替えの問題でも6つの問題で6ポイント以上下回っており、基本を理解していない生徒が目立つ。和文英訳では無回答のものが25%を超えるものがあり、4人に1人は全く何も回答できないという状態であった。	・基本文をしっかりと定着させるために、授業では口頭でのパターンプラクティスを多く取り入れ、さらに文を作ったり書いたりする活動を多く取り入れるようにしていく。また、こまめに小テストやワークシートの添削を行うことで、生徒一人一人が自分の間違いに気が付き、復習する機会を得られるようにしたい。